

相談室から

月1回の専門医相談をご活用ください！



生徒指導相談室（いじめ・体罰解消サポートセンター）では、専門医による相談を毎月第3月曜日（原則として）に実施しています。精神科の医師であり臨床心理士の専門医が来所し、45分の中で、相談者の悩みや困りごとを丁寧に聞いて、アドバイスをくれます。対象は、保護者、児童生徒、教職員などです。相談について料金はかかりません。児童生徒の不登校、情緒や発達、友人関係など様々な相談に応じています。

これまでに、学校や当センターが対象の保護者に親子での専門医相談を勧めたり、担任や養護教諭が対象の児童生徒について専門医に学校での支援方法を相談したりして、改善につなげているケースもあります。

今後も、月1回実施している専門医相談を、より多くの方々にご紹介ご利用いただければと考えております。どうかお気軽に、**☎029-221-5550**にお問い合わせください。専門医相談の予約を受け付けます。

一人でも多くの児童生徒が安心して、より楽しく学校生活を送ることができるように一緒に考えていきましょう。

年度内の予定

相談日 11/20（月）・12/18（月）・1/22（月）・2/19（月）・3/18（月）

相談時間 ①13:00～13:45 ②13:45～14:30 ③14:30～15:15 ④15:15～16:00

春夏冬話(あきない話)



富士登山からの学び



「あ～たまを雲の～上に出し～♪♪♪富～士は日本一の山～」2013年に世界文化遺産に登録された標高3776mの富士山には、これまでに15回くらい登頂している。「富士山は見る山で、登る山ではない」という人もいるが、遺産登録後は山頂を目指す若者や外国の方が確実に増えた。残念なことに登る人が増えると、報道のとおりトラブルや救助者も増えてくる。出発地点の5合目が晴れていても8～9合目付近で急にわき立ってきた雲に突入し、大雨や雷雨に見舞われるときもある。「雷さまを下に聞く♪」ならまだいいかもしれないが、稲妻が真横に走る雲間放電は恐怖でしかない。山の天気は本当に変わりやすい。雨具を持たず、急に降り始めた冷たい雨でびしょ濡れになり、低体温症で動けなくなっている人や、高山病で食べた物を吐いている人も見てきた。（ブルドーザーに乗せられて下山した人も）そんな私も、過去には雨具で大失敗。強風や強雨の中ではペラペラな簡易雨具は簡単に破けてしまい、何の役にも立たないことを身をもって体験した。それからは、荷物は重くなるが丈夫な雨具を持参し、急な風雨にも対応できる登山を心がけている。

事務所だよりの「転ばぬ先の杖」は、登山でも登山に例えられる人生でも、教育現場でも必要なもの。万が一に備えてあらかじめ十分な準備をしておくことは、安心・安全な登山や人生、学校づくりにつながる。学校から離れてしまった今、それぞれの教育現場で準備している「杖」が、問題の予防や早期解決につながることを願ってやまない。(by S・M)